



2026年2月10日

各位

会社名 株式会社 資生堂
代表者名 代表執行役 社長 CEO
藤原 憲太郎
(コード番号 4911 東証プライム)
問合せ先 IR部長 大島 由紀
(TEL. 03-3572-5111)

2025年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025年11月10日に公表いたしました2025年通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異の内容（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	コア 営業利益	営業利益 又は損失 (△)	税引前利益 又は損失 (△)	親会社の所有 者に帰属する 当期利益 又は損失 (△)	基本的 1株当たり 当期利益 又は損失 (△)
前回発表予想(A)	百万円 965,000	百万円 36,500	百万円 △42,000	百万円 △42,000	百万円 △52,000	円 銭 △130.17
実績値(B)	969,992	44,520	△28,788	△27,715	△40,680	△101.83
増減額(B-A)	4,992	8,020	13,212	14,285	11,320	28.34
増減率(%)	0.5%	22.0%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2024年12月期)	990,586	36,359	7,575	△1,265	△10,813	△27.06

(注 1) コア営業利益は、営業利益から構造改革に伴う費用・減損損失・買収関連費用等、非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しています。

(注 2) 2025年12月期 通期想定レートおよび実績

前回発表予想：ドル=148円、ユーロ=168円、中国元=20.5円

実績値：ドル=149.7円、ユーロ=169.0円、中国元=20.8円

2. 差異の理由について

売上高については、米州事業の苦戦により実質ベース*では予想を下回った一方、円安に伴う為替換算上のプラス影響により、前回予想をやや上回りました。コア営業利益については、実質ベースでの売上高の下振れの中でも構造改革効果の上乗せおよびコストマネジメントが奏功し、想定を上回りました。営業利益は、コア営業利益の上振れに加え、構造改革費用などを含む非経常項目が想定を下回ったことから、前回予想を上回りました。税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益についても、営業利益の上振れ、円安に伴う為替差益の発生等により、前回予想を上回りました。

*為替影響および事業譲渡・買収影響を除く

3. 余剰金の配当について

2025年12月期の配当(中間配当20円(実施済)、期末配当20円=年間40円)の実施内容に変更はありません。

以上